

環001	項目名	合併処理浄化槽設置補助金	
主要な施策	合併処理浄化槽設置費補助金	ページ	32
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 下水道企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】下水道経営課庶務係 0857-20-3923		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P231（環001）		
目 公害対策費	【事業の概要】 公共下水道及び農業集落排水施設等の整備が見込まれない区域において、住宅・事務所等の建物に合併処理浄化槽を設置する者に対して、補助金を交付する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 合併処理浄化槽設置を補助することにより、浄化槽の整備が促進され、生活環境の向上と、公共水域の水質保全が図られる。 平成24年度補助件数等 ・交付実績 基数 5人槽 11基 6~7人槽 4基 10人槽以上 1基 補助金総額 10,272千円		
当初予算額	11,384	【今後の課題・方向性】 湖山池周辺エリアを中心として、対象地域へのPRにより、浄化槽整備率の向上を図る。	
補正予算額	△ 1,112		
予算流・充用額	0		
最終予算額	10,272	評価結果 湖山池周辺エリアを中心として、対象地域へのPRにより、浄化槽整備率の向上を図る。	
本年度決算額	10,272		
区分	決算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	2,237	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	8,035	財産収入	0
計	10,272	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	11,555		

環002	項目名	浄化槽事務費	
主要な施策	事務費	ページ	32
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 下水道企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】下水道経営課庶務係 0857-20-3923		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P231（環002）、12月補正予算・P30（環001）		
目 公害対策費	【事業の経過及び背景】 平成24年度に鳥取県より浄化槽法に基づく事務が移譲され、浄化槽の維持管理・法定検査等に係る指導事務について、鳥取市が実施することとなった。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 本市が設置・廃止等の届出窓口となることで、迅速な状況確認に基づき適切な指導が行えるなど、浄化槽の適正管理推進が図られる。また、公共用水域の水質保全・向上のため、公共下水・集落排水事業と一体的・総合的な施策に取り組むことができる。		
当初予算額	2,342	【事業の内容・実績】 ○主な権限委譲事務 ・浄化槽設置届出書等の受理、審査、浄化槽台帳への記録 ・法定検査報告書の受理・改善指導、市民への広報・啓発活動、苦情処理等の事務 ○浄化槽設置基数 5,252基（平成25年3月末現在）	
補正予算額	230	【今後の課題・方向性】 ・設置状況の不明な浄化槽について、現地調査・確認を行い、適正な台帳を整備する。 ・浄化槽法定検査未受検の者へPR・指導を行い、受検率向上を図る。 ・指定検査機関・保守点検業者と連携した、法定検査受検率向上のための仕組みづくりを県に要望し、協力・検討していく。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,572	評価結果 ・設置状況の不明な浄化槽について、現地調査・確認を行い、適正な台帳を整備する。 ・浄化槽法定検査未受検の者へPR・指導を行い、受検率向上を図る。 ・指定検査機関・保守点検業者と連携した、法定検査受検率向上のための仕組みづくりを県に要望し、協力・検討していく。	
本年度決算額	2,441		
区分	決算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	2,441	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	2,441	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	1,396		

環003	項目名	施設維持管理費(浄化槽分)	
主要な施策	浄化槽等維持管理費	ページ	32
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 下水道企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】下水道管理室 0857-20-3311		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 1 2月補正予算・P30(環002)		
目 公害対策費	【事業の概要】 公共下水道等の集合処理施設の整備が見込めない地域において、市で設置した浄化槽について、適正な維持管理を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 合併処理浄化槽の適正な維持管理による良質な放流水質の確保。 平成22年度決算額 2,120千円 平成23年度決算額 2,323千円 平成24年度決算額 4,580千円		
当初予算額	4,276	【今後の課題・方向性】 施設管理の適正化を図る上で、浄化槽使用者への管理移管について検討が必要。	
補正予算額	391		
予算流・充用額	△ 50		
最終予算額	4,617	【参考】	
本年度決算額	4,580	評価結果 施設管理の適正化を図る上で、浄化槽使用者への管理移管について検討が必要。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 2,233		
	一般財源 2,347		
	計 4,580		
前年度決算額	2,323		

環004	項目名	施設維持管理費(コミプラ分)	
主要な施策	浄化槽等維持管理費	ページ	32
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 下水道企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】下水道管理室 0857-20-3311		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 1 2月補正予算・P31(環003)		
目 公害対策費	【事業の概要】 旧青谷町において整備され合併により引き継いだコミュニティ・プラント施設について、正常な稼働を確保するための維持管理を行い、良質な放流水質の確保に努める。		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取市が管理するコミュニティ・プラント施設について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく処理施設の維持管理、汚泥運搬、水質検査、修繕等を実施。 平成22年度決算額 4,263千円 平成23年度決算額 4,319千円 平成24年度決算額 4,171千円		
当初予算額	4,397	【今後の課題・方向性】 引き続き施設の適正な維持管理に取り組む。	
補正予算額	2		
予算流・充用額	52		
最終予算額	4,451	評価結果 引き続き施設の適正な維持管理に取り組む。	
本年度決算額	4,171		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金 0		
	地方債 0		
	その他 3,500		
	一般財源 671		
	計 4,171		
前年度決算額	4,319		

環005	項目名	下水道等事業会計へ繰出(集落排水事業)	
主要な施策	下水道等事業会計へ繰出	ページ	36
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 下水道企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】下水道企画課総務係 0857-20-3315		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】4101		
項 他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P232(環003)		
目 下水道等事業会計へ繰出	【事業の概要】 下水道等事業会計(集落排水事業)に対する一般会計からの繰出金		
(単位:千円)	【事業の効果】 下水道等事業会計(集落排水事業)の適正な運営		
当初予算額	1,596,423	【今後の課題・方向性】 下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。	
補正予算額	△ 176,049		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,420,374	【参考】	
本年度決算額	1,420,374	評価結果 下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	38,100	
	その他	0	
	一般財源	1,382,274	
	計	1,420,374	
前年度決算額	1,414,837		

環006	項目名	下水道等事業会計へ繰出(公共下水道事業)	
主要な施策	下水道等事業会計へ繰出	ページ	40
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 下水道企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】下水道企画課総務係 0857-20-3315		
款 土木費	【9次総の施策体系】4101		
項 他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P232(環004)		
目 下水道等事業会計へ繰出	【事業の概要】 下水道等事業会計(公共下水道事業)に対する一般会計からの繰出金		
(単位:千円)	【事業の効果】 下水道等事業会計(公共下水道事業)の適正な運営		
当初予算額	2,175,503	【今後の課題・方向性】 下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査による経費節減等により、繰出金の縮減を図る。	
補正予算額	667,049		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,842,552	【参考】	
本年度決算額	2,842,552	評価結果 下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査による経費節減等により、繰出金の縮減を図る。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,596	
	一般財源	2,840,956	
	計	2,842,552	
前年度決算額	2,888,128		

環007	項目名	名木・古木保存費	
主要な施策	樹木保全事業費	ページ	32
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4102		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P233(環005)		
目 環境衛生費	【事業の概要】 鳥取市自然保護及び環境保全条例に基づき、保護地区、保存樹木等について、昭和53年から指定を行っており、現在28か所指定している。		
(単位:千円)	【事業の成果】 良好な自然環境の確保及び地域的美観風致を維持している。		
当初予算額	2,634	【今後の課題・方向性】 今後も自然環境や美観風致の維持のために、必要な措置を行っていく。	
補正予算額	△936		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,698	【参考】	
本年度決算額	1,185	前年度決算額 419	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		今後も自然環境や美観風致の維持のために、必要な措置を行っていく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,185		
計	1,185		
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

環008	項目名	住宅用自然エネルギー導入促進事業費	
主要な施策	新エネルギー利用普及推進事業費	ページ	32
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P233(環006)、9月補正予算・P49(環001)		
目 環境衛生費	【事業の概要】 自然エネルギーの普及による温室効果ガスの排出量削減と化石燃料の代替燃料の普及のため、太陽光発電システム、薪ストーブ、ペレットストーブ、小型風力発電設備、太陽熱温水器等の購入・設置費用を補助した。		
(単位:千円)	<補助金額>		
当初予算額	53,100	太陽光発電 1kW当たり3.4万円を補助(上限13.6万円) (10/1~は、5万円を補助(上限20万円))	
補正予算額	19,962	小型風力発電施設 設置費用の1/10を補助(上限10万円)	
予算流・充用額	0	薪ストーブ 設置費用の1/10を補助(上限6万円)	
最終予算額	73,062	ペレットストーブ 設置費用の1/10を補助(上限4万円)	
本年度決算額	72,011	太陽熱温水器 設置費用の1/10を補助(上限2万円)	
区分	決算額	民生用燃料電池システム 設置費用の1/10を補助(上限20万円)	
財源内訳		LED照明又は高効率給湯器 設備費用の1/10を補助(上限3万円)	
国・県支出金	34,466	【事業の成果】	
地方債	0	太陽光発電システム 404件 薪ストーブ 7件	
その他	37,545	太陽熱温水器 24件 民生用燃料電池システム 11件	
一般財源	0	(LED照明 10件 高効率給湯器 88件)	
計	72,011	合計 446件 72,011千円	
		(LED照明・高効率給湯器は、太陽光発電と同時申請のため、合計件数に含まず)	
		【今後の課題・方向性】 社会的に再生可能エネルギーの利活用が叫ばれる中、本市としても引き続き普及を図る。	
		【参考】	
前年度決算額	68,742	評価結果	
		再生可能エネルギーの利用を重点項目として位置づけている本市としては、引き続き普及を図る。	

環009	項目名	環境教育推進費	
主要な施策	環境基本計画推進費	ページ	32
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P234（環007）		
目 環境衛生費	【事業の概要】 こどもエコクラブ全国事務局に登録している、こどもエコクラブが実施する環境学習・活動に対して支援をすることにより、環境を大切にすることと行動力の育成を図り、幼児から高校生、大人を含めた地域活動の活性化に資する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 710千円 12団体 平成23年度 728千円 12団体 平成22年度 900千円 12団体		
当初予算額	1,000	【今後の課題・方向性】 こどもの環境教育について、市が積極的に関与していくよう、引き続き支援していく。	
補正予算額	△289		
予算流・充用額	0		
最終予算額	711	その他の財源の内訳	
本年度決算額	710	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		こどもの環境教育について、市が積極的に関与していきたい。	
国・県支出金	355		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	355		
計	710		
(参考)			
前年度決算額	728		

環010	項目名	湖山池浄化対策費	
主要な施策	湖山池浄化対策費	ページ	32
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4102		
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P234（環008）、6月補正予算・P26（環001）、 9月補正予算・P49（環002）		
目 公害対策費	【事業の概要】 ・生活排水対策として、湖山池周辺の集落到台所用ろ過袋の購入助成を実施 ・湖内の汚濁状況調査のため、調査員を委嘱し、30回/年調査を実施 ・湖山池の水環境について、住民等と情報共有を図るため、シンポジウムを開催 ・県と共同で環境モニタリング調査を実施（動植物プランクトン・鳥類・貝類・水草類・航空写真撮影） ・県と共同でモニタリング調査の評価等のため、環境モニタリング委員会を開催 ・湖山池の利活用等の促進を図る意見交換の場として、湖山池将来ビジョン推進委員会を設置（100人委員会に代わるものとして）		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・汽水湖化により、ヒシとアオコの発生抑制が図られ、景観もよくなり悪臭もなくなった。		
当初予算額	7,715	【今後の課題・方向性】 ・東郷池程度（2,000~5,000mg/L）の塩分濃度の堅持 ・高塩分化による動物・植物の保全やカラスガイをはじめとする二枚貝の保全 ・「湖山池将来ビジョン」に沿った「湖山池将来ビジョン推進計画」の取組み	
補正予算額	△4,392		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,323	その他の財源の内訳	
本年度決算額	3,288	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	145
		その他	0
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		湖山池将来ビジョン推進計画（第3期湖山池水質管理計画）に基づき、積極的に湖山池の水質浄化に取り組んでいく。	
国・県支出金	150		
地方債	0		
その他	145		
一般財源	2,993		
計	3,288		
(参考)			
前年度決算額	5,322		

環011	項目名	ごみの減量化及び再資源化対策費	
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
事業の概要		【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218	
会計名		【9次総の施策体系】4101	
一般会計		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P235（環009）	
款	衛生費	【事業の概要】 ごみの再資源化と減量化を推進することを目的に、再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する。	
項	清掃費	【事業の成果】 古紙類・アルミ缶等 ビン類 奨励金総額	
目	清掃総務費	平成24年度 3,336,746kg 29,191本 19,801千円	
(単位:千円)		平成23年度 3,495,616kg 32,728本 20,769千円	
当初予算額	20,400	平成22年度 3,741,769kg 35,342本 22,281千円	
補正予算額	0	(奨励金単価:古紙類…6円/kg その他再資源化等対象物…4円/kg又は本)	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 引き続き継続事業とする。	
最終予算額	20,400	その他の課題・方向性	
本年度決算額		引き続き継続事業とする。	
本年度決算額	19,801	その他の課題・方向性	
区分		その他の課題・方向性	
財源内訳	決算額	その他の課題・方向性	
国・県支出金	0	その他の課題・方向性	
地方債	0	その他の課題・方向性	
その他	19,801	その他の課題・方向性	
一般財源	0	その他の課題・方向性	
計	19,801	その他の課題・方向性	
(参考)		その他の課題・方向性	
前年度決算額	20,769	その他の課題・方向性	
評価結果	ごみの再資源化と減量化の推進のため、今後も広く周知し、普及を図る。		

環012	項目名	資源ごみ収集事業費	
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
事業の概要		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217	
会計名		【9次総の施策体系】4101	
一般会計		【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P235（環010）、9月補正予算・P50（環003）	
款	衛生費	【事業の概要】 家庭から排出される資源ごみの再資源化を図るため、古紙類、食品トレイ、ビン・缶、ペットボトル、プラスチックごみ、小型破砕ごみ、乾電池等に分別し、それぞれ曜日を定め収集運搬を行う。	
項	清掃費	【事業の成果】（委託収集業者収集運搬実績報告書より）	
目	清掃総務費	古紙類 ビン・缶 食品トレイ ペットボトル プラスチックごみ	
(単位:千円)		平成24年度 1,615t 1,775t 37t 310t 2,431t	
当初予算額	285,276	平成23年度 1,894t 1,891t 42t 315t 2,433t	
補正予算額	△3,570	平成22年度 2,255t 1,972t 49t 334t 2,387t	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 小型家電リサイクル法の施行により、本市の取り組みについて検討する。	
最終予算額	281,706	その他の課題・方向性	
本年度決算額		その他の課題・方向性	
本年度決算額	281,632	その他の課題・方向性	
区分		その他の課題・方向性	
財源内訳	決算額	その他の課題・方向性	
国・県支出金	0	その他の課題・方向性	
地方債	0	その他の課題・方向性	
その他	206,566	その他の課題・方向性	
一般財源	75,066	その他の課題・方向性	
計	281,632	その他の課題・方向性	
(参考)		その他の課題・方向性	
前年度決算額	287,799	その他の課題・方向性	
評価結果	家庭から排出される資源ごみを適正に収集運搬する。さらなる分別の徹底により、資源の有効利用を図る。小型電子機器等リサイクルについて検討する。		

環013	項目名	家庭ごみ有料化事業	
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
事業の概要		<p>【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P236（環011）</p> <p>【事業の概要】 家庭ごみの有料袋を導入し、市民に家庭ごみの処理に要する経費を意識していただくことにより、ごみの発生抑制、再資源化を普及していく。</p> <p>【事業の成果】 家庭ごみ有料袋の導入により、家庭から出されるごみの減量化に対する意識の高揚が図られた。</p> <p>○一人1日当たりのごみ総排出量 平成24年度 888g 平成23年度 888g 平成22年度 877g</p> <p>【今後の課題・方向性】 家庭ごみ有料袋の制度を継続し、得られた手数料をごみの減量化や再資源化を推進する施策及び環境施策に充当する。</p>	
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	清掃費		
目	清掃総務費		
(単位:千円)			
当初予算額	77,275		
補正予算額	△ 1,354		
予算流・充用額	0		
最終予算額	75,921	その他財源の内訳	
本年度決算額	74,770	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	74,769
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	74,770	
	一般財源	0	
	計	74,770	
(参考)	前年度決算額	67,746	評価結果
			有料化制度により、ごみの減量化を図る。

環014	項目名	ごみ減量化推進事業費	
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
事業の概要		<p>【問合せ先】 環境政策係 0857-20-3218</p> <p>【9次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P236（環012）</p> <p>【事業の概要】 さらなるごみの減量化・再資源化を積極的に推進するための施策を実施する。</p> <p>【事業の成果】 ノーレジ袋推進啓発キャンペーンの実施 ごみ減量等推進優良事業所の認定 生ごみ堆肥化講習会の実施 参加者数 178名 生ごみ堆肥化容器等購入費補助金 178件</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後も施策を検討しながら継続していく。</p>	
会計名			
一般会計			
款	衛生費		
項	清掃費		
目	清掃総務費		
(単位:千円)			
当初予算額	1,253		
補正予算額	0		
予算流・充用額	△ 60		
最終予算額	1,193	その他財源の内訳	
本年度決算額	388	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	388
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	388	
	一般財源	0	
	計	388	
(参考)	前年度決算額	358	評価結果
			ごみ減量を推進するため、継続した啓発事業が必要であり、家庭で手軽にできる段ボールコンポストの普及促進に努めていく。

環015	項目名	可燃ごみ収集委託費	
主要な施策	ごみ収集委託費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P237（環013）、9月補正予算・P50（環004）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 家庭から出される可燃ごみを適正に収集運搬する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 生活環境を清潔にし、市民の健康で快適な生活を確保している。		
当初予算額	417,581	○委託状況 鳥取地域：鳥取市環境事業公社 国府地域：生田商店、クリーンコクフ 福部地域：クリーンフクベ 南部地域：因幡環境整備 西部地域：キョウエイ	
補正予算額	△7,257	○可燃ごみ収集量（委託収集業者収集運搬実績報告書より） 平成24年度 28,274t 平成23年度 28,707t 平成22年度 28,289t	
予算流・充用額	△33	【今後の課題・方向性】 引き続き、家庭から出される可燃ごみを適正に収集運搬する。	
最終予算額	410,291	○委託状況 鳥取地域：鳥取市環境事業公社 国府地域：生田商店、クリーンコクフ 福部地域：クリーンフクベ 南部地域：因幡環境整備 西部地域：キョウエイ	
本年度決算額	410,024	【今後の課題・方向性】 引き続き、家庭から出される可燃ごみを適正に収集運搬する。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		引き続き、家庭から発生する可燃ごみを適正に収集運搬する。	
国・県支出金	0	引き続き、家庭から発生する可燃ごみを適正に収集運搬する。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	410,024		
計	410,024		
前年度決算額	400,654		

環016	項目名	小型破碎・大型ごみ収集委託費	
主要な施策	ごみ収集委託費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P237（環014）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 家庭から出される小型破碎ごみ及び大型ごみを適正に収集運搬する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 生活環境を清潔にし、市民の健康で快適な生活を確保している。		
当初予算額	99,584	(委託収集業者収集運搬実績報告書より) 平成24年度 小型破碎 1,574t 大型ごみ 158t 平成23年度 小型破碎 1,548t 大型ごみ 169t 平成22年度 小型破碎 1,500t 大型ごみ 151t	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 引き続き、家庭から出される小型破碎ごみ及び大型ごみを適正に収集運搬する。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	99,584		
本年度決算額	99,563		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	8,398		
一般財源	91,165		
計	99,563		
前年度決算額	108,848		

環017	項目名	ふれあい収集モデル事業費	
主要な施策	ごみ収集委託費	ページ	33
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】 4101		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P238（環015）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 高齢化社会への移行と、住宅事情の変化や核家族化の進行に伴い、高齢者や障がいのある方で、ごみを集積所まで持ち出すことが困難な方々への行政サービスを地域共助をテーマとして位置付け、モデル的に実施し検証を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 モデル事業の区域を広げ、事業の必要性及び成果を検証しているところである。		
当初予算額	259	【今後の課題・方向性】 事業の成果の検証及び今後の取り組みを検討する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	△ 233		
最終予算額	26	その他の財源の内訳	
本年度決算額	12	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	12		
計	12		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	150	事業の成果の検証及び今後の取り組みを検討する。	

環018	項目名	大型ごみ戸別有料収集事業費	
主要な施策	収集管理事務費	ページ	33
年度	H24	所 属 名 環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】 4101		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P238（環016）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 大型ごみの個別有料収集について、大型ごみに貼るシール発行による事前納付を可能とし、市民の利便性を確保し、不法投棄を防止する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 市役所や支所だけでなくコンビニエンスストアでの販売も行い、市民の利便性が向上している。		
当初予算額	619	【今後の課題・方向性】 引き続き、市民の利便性を確保する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	34		
最終予算額	653	その他の財源の内訳	
本年度決算額	573	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	573
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	573		
一般財源	0		
計	573		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	587	大型ごみのシール発行及びコンビニエンスストアでの販売を継続し、市民の利便性を確保する。	

環019	項目名	不法投棄監視費	
主要な施策	ごみ不法投棄対策費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4102		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P239（環017）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 不法投棄対策として、不法投棄の多発地帯に不法投棄防止を呼びかける看板や監視カメラを設置する。また、市内の地区公民館単位に、地区住民のボランティアによる不法投棄監視員を設置し、不法投棄を未然に防止する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 不法投棄に対する市民の意識を啓発し、その発生を未然に防ぐことができる。		
当初予算額	3,669	看板設置数 不法投棄監視員 監視カメラ設置数	
補正予算額	0	平成24年度 25枚 60地区 361名 0台	
予算流・充用額	△1,058	平成23年度 64枚 62地区 371名 4台	
		平成22年度 70枚 61地区 354名 2台	
最終予算額	2,611	【今後の課題・方向性】 引き続き、啓発看板、監視カメラの設置による啓発を推進するとともに、不法投棄監視員制度による地区を挙げて不法投棄を防止する取り組みを継続する。	
本年度決算額	2,366	評価結果	
区分	決算額	不法投棄対策として、不法投棄監視員による監視及び啓発看板や監視カメラ等を設置し、市民の意識の高揚を図る。	
財源内訳			
国・県支出金	401		
地方債	0		
その他	1,965		
一般財源	0		
計	2,366		
(参考)			
前年度決算額	3,802		

環020	項目名	不法投棄対策費	
主要な施策	ごみ不法投棄対策費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4102		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P239（環018）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 本市における不法投棄の防止及び事案の処理について連絡協議をするために「鳥取市不法投棄対策協議会」を設置している。協議会では、不法投棄の処理に係る経費を一括して予算計上する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 公園、市道、農道、林道等を管理する各部所が、不法投棄等の処理を迅速に行うことができている。		
当初予算額	9,104	不法投棄処理件数 撤去量	
補正予算額	△2,107	平成24年度 111件 127.5㎡	
予算流・充用額	0	平成23年度 86件 119.0㎡	
		平成22年度 110件 89.4㎡	
最終予算額	6,997	【今後の課題・方向性】 引き続き、不法投棄撲滅に向けて取り組むとともに、不法投棄物の適正な処理を行う。	
本年度決算額	3,465	評価結果	
区分	決算額	引き続き、不法投棄撲滅に向けた施策を講じるとともに、不法投棄物の適正な処理を行う。	
財源内訳			
国・県支出金	463		
地方債	0		
その他	3,002		
一般財源	0		
計	3,465		
(参考)			
前年度決算額	3,475		

環021	項目名	施設維持管理費	
主要な施策	施設維持管理費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P240（環019）		
目 清掃工場管理費	【事業の概要】 市内4か所の清掃工場を維持管理するとともに、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法に則り排ガス対策等を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 生活環境を清潔にし、市民の健康で快適な生活を確保している。		
当初予算額	201,165	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
補正予算額	△ 3,379		
予算流・充用額	0		
最終予算額	197,786	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
本年度決算額	195,512	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
その他	195,512	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
一般財源	0	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
計	195,512	【今後の課題・方向性】 施設の適正な維持管理に努める。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	202,635	可燃物処理施設4工場の効率的な施設管理を検討する。	

環022	項目名	施設維持管理修繕費	
主要な施策	施設維持管理費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P240（環020）		
目 清掃工場管理費	【事業の概要】 市が設置している可燃ごみ処理施設4工場を安定稼働するため、計画的に定期修繕を実施する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 施設の延命化が図られる。		
当初予算額	240,756	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
最終予算額	240,756	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
本年度決算額	222,049	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
地方債	0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
その他	0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
一般財源	222,049	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
計	222,049	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し、修繕費の上昇が懸念される。	
(参考)	評価結果		
前年度決算額	158,433	可燃物処理施設4工場の効率的な施設管理を検討する。	

環023	項目名	焼却作業委託費
------	-----	---------

主要な施策	焼却作業委託費	ページ	33
-------	---------	-----	----

所 属 名	環境下水道部 生活環境課
-------	-----------------

年度	H24
----	-----

事業の概要	
-------	--

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	清掃費
目	清掃工場管理費

【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217

【9次総の施策体系】4101

【予算計上の経過】
予算事業別概要目次
当初予算・P241（環021）

【事業の概要】
市が設置している可燃ごみ処理施設4工場の運転管理費を支出する。

【事業の成果】
可燃ごみ処理施設の安定した運転が継続されている。

【今後の課題・方向性】
地元との協定で平成26年3月までとなっているなおクリーンステーションの稼働について、検討する必要がある。

(単位:千円)

当初予算額	429,205
補正予算額	△910
予算流・充用額	0

最終予算額	428,295
-------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	83,175
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	92,775
その他	0

本年度決算額	428,295
--------	---------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	175,950
一般財源	252,345
計	428,295

(参考)

前年度決算額	424,822
--------	---------

評価結果	可燃物処理施設4工場の効率的な施設管理を検討する。
------	---------------------------